

大野小学校学校運営協議会だより

「みんなでつくろう幸せな学校」



令和 7年1月6日

自ら進んで学ぶ子 自分を高める子 互いを認め合える子

第3号

秋の音楽会参観&給食試食も！

2学期の一大行事「秋の音楽会」を見ていただきました。どの学年も趣向を凝らした見ごたえのあるパフォーマンスでした。1年生の合奏「キラキラぼし」は途中転調を。2年生は、動物たちの世界へ大冒険！3年生は、宇宙人と出会う?! 4年生は、「スーパーカリフラジリスティックエクスピアリドーシャス。」と魔法をかけられてしまい……。5年生は、サ6年生は、気持ちを一つに最高学年らしい歌声を披露しました。



ンバのリズムでノリノリに！



委員の皆様からは、「子どもたちの姿が素晴らしかった。」「先生方と子どもたちの気持ちがつながっているの、このような素晴らしい姿になるのだと感心した。」「改めて、良い学校だと思った。」と、感想をいただきました。

協議会の後は、「秋の音楽会」ダイジェスト版をご覧いただきながら、本校自慢の給食を試食。給食を通して行われる食育についても体験していただく機会となりました。

【第2回 学校運営協議会概要】

《日 時》 令和6年11月9日(土)

9時～13時

《場 所》 大野小学校 体育館、ランチルームくだもの

《次 第》 ○秋の音楽会参観

○協議1 前期学校評価について

○協議2 教職員の任用について

○学校運営協議会委員の方からひと言



協議内容について

○協議1 前期学校評価について

校長：課題の一つ目は、学力向上。「授業の内容がわかる」ようにするためにも、3年生以上の教科担任制、算数科を中心とした習熟度別少人数指導、専門性を生かした体育科、総合的な学習の時間の指導を実施している。漢字の書き取りやミニテストなど、基礎基本の定着のためにもデジタルに頼らない学習方法を取り入れていく。

課題の2つ目は、読書や図書資料の活用について。情報収集をインターネットに頼るばかりでなく、図書資料や人、もの、ことから得られるよう、教職員の意識を変えていく。また、本物に触れる機会を増やし、子どもたちの興味関心を高めていく工夫をしていく。

成果としては、「互いの良さを認め合う」が高評価。縦割り活動の成果ともいえる。陸上大会のあと、凱旋帰校した選手たちを花道と手作り横断幕で迎える姿からも、大野っ子のあたたかい気持ちが伝わってきた。

委員：保護者や地域を巻き込んだ活動を増やしてくれてよかった。保護者ボランティアもさらに活用してほしい。

読書活動については、自宅で読まなくなった本を寄付したりできるので、読む本を増やしてほしい。

ICTの活用はありがたい。今後、必要になるスキルなので、ぜひ続けてほしい。

○協議2 職員の任用について

教頭:資料を参照していただき、学校の実態に合わせて「こんな先生に来ていただきたい。」と要望するもの。

校長:令和6年度末の定期異動者は4名。モデルとなる授業ができる人が欲しい。

会長:経験者をと要望しても要望通りにいかない。バランスが大事なのに、なぜ要望しても来ないのか。

校長:市川市の教員の年齢構成がすり鉢状であり、若年層の人数に対する中堅層が少ないという実態がある。

会長:そういう現状であれば、若年層教員をどう育てるのか考えないといけない。学校と相談して要望を出す。

○学校運営協議会委員の方々から一言

委員:かけこみ110番ウォークラリーの事前の案内がなかった。柏井の強盗事件を受けて、チャイムが鳴っても応じない家庭も出てきている。児童を守るためのかけこみ110番だが、その機能を果たせないとすれば、子どもたちを守る方法について、自治会やPTAと話し合い、知恵を出していくしかない。

不登校児童が多くなっている。大野小ではどうか、そして、学校としてどのように対応しているのか。

校長:SSR(スペシャルサポートルーム)は、教室に入ることができない児童のための教室である。SSRがあることで、登校へのハードルが下がっていることが事実である。家庭や子どもと向き合いながら、学びを止めない方法を探っている。

委員:自分も含めて、学校に行きたくないと思うことはあった。何よりも本人が一番不安である。また、保護者の不安も強い。プライバシーの問題はあるかもしれないが、先生や保護者同士のかかわりがあると、「自分の子だけではない」と思えるのではないかと思う。

会長:SSRは、だれが見ているのか。何人利用しているのか、差し支えなかったら教えてほしい。

校長:日によって流動的ではあるが、3~4人の利用があり、皆、教室と行き来している。

子どもだけにならないよう、管理職や教務、スクールサポーターたちが対応できるようになっている。

会長:ほかには。

委員:かけこみ110番のお知らせは事前に行っていると思っていたが、確認できていなかった。

下校途中にけがをしたので、かけこみ110番の家に声をかけ、絆創膏をもらったという事例があった。

かけこみ110番は子どもたちにとってもメリットがある。柏井の強盗事件を受けて、今後は、民家ではなく商店に頼るなど検討が必要だと思った。

下貝塚中フロック学校運営協議会で検討していただいたので、「4つのあたりまえだけど大切なこと」が右記のようにリニューアルしました。

下貝塚中生徒会を中心に、この姿を目指してみんなで取り組んでいきます。

